わくわく聖書セミナー　オリエンテーション

このセミナーの目的

     1年、12回で聖書の全体像を理解する。 全体像を理解できると、今後の理解度が高まる。

なぜ聖書を読むのか？

     神様をより深く知るため

          主人公である神様が何を考え、何を語り、何をしたか、

     神様に従って生きるため

     「あなたのみことばは、私の足のともしび、　私の道の光です。」　詩編１１９：１０５

    「信仰にとどまる」「教えと戒めと矯正と義の訓練とのため」「整えられる」　２テモテ３：１４－１７

聖書ってなに？

     聖書は天地創造で始まり（創世記）新しい天地創造で終わる（黙示録）「神の物語」

     神様と人間との壮大な歴史物語

     旧約聖書と新約聖書は物語の前半と後半、別の物ではなく一体

聖書の構成

 　旧約聖書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| モーセ五書（律法）　 | 創世記～申命記 | イスラエル人が約束の地に導かれるまで |
| 歴史書 | ヨシュア記～エステル記　　 | イスラエル王国の成立と崩壊（BC1400～BC400） |
| 詩歌（諸書） | ヨブ記～雅歌 | 主にダビデ、ソロモンによる祈り、賛美、格言 |
| 預言書 | イザヤ書～マラキ書 | イスラエルへの警告と未来の希望を語る |

　新約聖書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 福音書 | マタイ福音書からヨハネ福音書 | イエス様の生涯、特に十字架と復活 |
| 使徒の働き（使徒行伝） |  | 教会の誕生と宣教 |
| パウロから教会宛の手紙 | ローマ書～テサロニケ書　福音の基礎と教会、信仰生活の勧め |  |
| パウロから個人宛の手紙　　 | テモテ書～ピレモン書 | 牧会者、同労者への私信 |
| その他の手紙 | へブル書～ユダ書 |  |
| 　ヨハネの黙示録 |  | 使徒ヨハネが見た幻 |

聖書の読み方

     新約の光の下で旧約を読む

旧約聖書はイエス・キリストについて書いてある。　ルカ２４：２７、４５－４７　ヨハネ５：３９

     旧約の中に透かしのように新約のメッセージが隠されている

             ＝「キリスト中心」の読み方　クリスチャンが旧約を読むときの重要な視点

旧約と新約は違う神様？　よく読むと旧約には神の愛が溢れている。

エレミヤ３１：３　イザヤ４３：４

イエス様から学ぶ読み方　ルカ10:25-42

１．観察　「律法（聖書）には何と書いてあるか」（２６）

   聖書は何と言っているかが基本原則、日々こつこつと聖書を読み、学び、みことばを暗唱し、聖書に親しむ。いざというときに慌てず、神様のみこころがわかる。

    聖書の要約＝神と人を愛せよ！　分厚い旧約聖書の本質はこれ。

２．解釈　「あなたはどう読んでいるか」（２６）

「愛する」とは大切にすること、＝神を第一とする。マリヤは大切なほうを選んだ

 　律法の専門家は隣人解釈において誤った。

３．適用　「あなたもそのようにせよ」（３７）

     単なる道徳として解釈したら律法主義になる。

「福音のめがね」で読む

     愛せない自分を知る、「福音のめがね」で見れば、信仰による救いしかない。

     マリヤのように主の足元でみことばを聞くことから。

新幹線読み　各駅停車でなく、名所から巡る

7つ道具

 3色ボールペン、透明付箋紙、柔らかいしおり、国語辞典、聖書辞典、ノート、図書館

３D読み　並行個所、同じテーマ、違う翻訳

例題：「長血の女性のいやし」　マタイ9：20－22、マルコ5：25－33、ルカ8：43－48

翻訳の違い　マタイ９：２１

 想像力を働かせる

          群衆に大声で語るイエス、「わざにもことばにも力ある」お方、

事実のみを語る「ニュース」に感情を持たせる

 聖霊の家庭教師（ヨハネ１４：２６）

 本の紹介

聖書は物語る、聖書辞典、聖書ハンドブック、聖書ガイドブック